

NEW

ネットワーク



Network Shimada

発行

島田療育センター
院長 木実谷 哲史

発達支援センター新規事業

町田市社会福祉協議会 学童クラブ巡回事業について

町田市には、町田市社会福祉協議会によって運営されている学童クラブが13箇所あります。昨年より、発達支援センター心理相談室のスタッフがこの13の各クラブへ、年に1回、巡回相談にうかがっています。発達の中で苦手さを抱え、お友達関係や生活の中で特別な支援を必要とするお子さんの割合が増えている昨今、町田市社会福祉協議会が運営されている学童クラブのスタッフの方々も、そのようなお子さんたちにどのように対応すれば良いのか、集団の中でどのように支援していくべきなのかを試行錯誤されながら日々保育をされています。より良い支援を行いたいと平成18年度からは、主に発達障害児への対応に関しての講義研修を当センターに依頼され、平成22年度からは事例検討も行ってきました。毎回、40名ほどの職員の方々に参加していただき、熱心に耳を傾け質問をしていただきました。

そして、昨年からはいよいよ、「各クラブのそれぞれの職員の方へより具体的な支援についてのアドバイスを」というご要望で、各クラブへの巡回相談を開始しました。巡回相談は、それぞれのお子さんに対してどのように対応、支援していくべきかを学童クラブのスタッフの皆さんと一緒に考えていく事が目的です。実際にお子さんが過ごすお部屋やお庭の状況を、時には保育の様子を実際に見せて頂きながら、具体的な支援についての話し合いをします。昨年は初年度という事で、まず、各クラブ1名ずつ担当を決めて訪問し、そ

れぞれのクラブの人数やお部屋の様子をなどの状況を確認しつつ、職員の皆さんと相談の流れを確認しました。

1回目の巡回相談で相談したい事として挙げられた事は、パニックやお友達とのトラブルなど、気になる行動についてどのように対応するかといったお子さんに対しての直接的な支援に関するもの、周囲の児との関係を維持する為にどのように説明し対応していくか、保護者と対象児について共通理解を図るためにどのようにお話ししていくか?など多岐に渡っていました。集団の中でお子さんを指導していく事の難しさや大変さがうかがえました。

1回目の巡回相談を終えて、クラブの職員の方々から「障害を持つ子への保育の難しさを感じる事が多かった。指導を受けられる事が有り難い」「専門的な機関と繋がりができ、いつでも相談できるという安心感を持てた」との感想を頂くことができました。また、「メールや電話での経過報告を活用し、“相談して実践して、さらに相談”というサイクルを作りたい」と積極的に利用しようという声も頂きました。こうした職員の方々の思いに応えられるように、より具体的で個別的な支援方法などを一緒に検討していけるよう、心理相談室一同頑張っていきたいと思いません。

(心理判定員 堀越 宏子)





家族支援プロジェクト



～保護者の方々の前向きな子育てを応援する為に、4年前から講演会や交流会を行っています。～

就学にもむけて

6月17日に「就学に向けて～情報交換会～」を行いました。多摩市の特別支援教育の現状や、就学相談の手続きなどについて、多摩市教育センターの相談員、現場の教諭、先輩保護者、医師など様々な立場から、総合的に情報提供し就学を考える会です。保育園職員も含め34名の参加があり、参加者からは「心構えが出来た」、「色々な話しが聞けて良かった」という感想が寄せられました。就学は保護者やお子さんにとって、大きなライフイベントの一つであり、就学前はストレスが高まる時期であるとも言われています。正確な情報を得て、不安を軽減し、前向きに考えるきっかけを提供出来るよう、今後も教育機関と連携して取り組んでいきたいと思ひます。

集いの場 ひだまり

今年度の新しい企画として、発達に心配のあるお子さんの保護者を対象に月1回、センター内の研修室を利用して、サロン「ひだまり」を開いています。午前と午後2時間ずつ、スタッフと地域の親の会の先輩ママが常駐しています。リハビリや診察などに来院したついでにふらっと立ち寄って、他の方のお話を聞いたり、おしゃべりをしたり、息抜きや情報収集の場にして頂きたいです。参加者は1日1名から8名と波があり、周知されるのに時間がかかっていますが、小さなイベントで色を加えていき、少しずつでも輪が広がっていくといいなと思っています。

先輩パパママの体験談を聞く会＋交流会

8月19日日曜日に、お身体にご不自由をお持ちのお子さんの保護者対象に、「先輩パパママの体験談を聞く会＋交流会」を行い、4名の先輩パパママに貴重な子育て体験談を語って頂きました。特製のそり付きバギーに乗ってスキーを楽しむ様子が動画で紹介され、子どもと一緒にプールに入ろう作戦など、身近で生活に役立つ話で盛り上がりました。お盆の時期と重なった為、参加者は少な目でしたが、そのおかげもあって終始アットホームな雰囲気でした。秋には、発達に心配のあるお子さんの保護者を対象に先輩パパママの体験談を企画しています。3月にはきょうだい支援も予定しています。

家族支援プロジェクトの活動は、センター後援会の助成で成り立っています。地域の大学の学生ボランティアの皆さんや地域の親の会のお母さん方、いつもお手伝い頂き本当にありがとうございます。

家族や養育者への支援の必要性が、「発達障害者支援法」に明記されました。

これからも地道に続けていきたいと思ひます。

(支援部 武内 典恵)





9月8日 (土)



わいわい祭り

実施されました。



地域の方々にも
ご参加頂きました。



こんなときどうしよう?
発達相談Q&A

学校で出た宿題を家でやろうとしません。

「宿題をやりなさい。」と伝えると、「後でやるよ。」

と言うものの翌日そのまま学校へ行ってしまう・・・。



A 宿題を家でやろうとしない背景には、①宿題の内容が難しい②宿題の量が多い為、どのように進めていいか解らない③宿題をする習慣が身についていない④宿題に対するモチベーションが低いなどが考えられます。①の宿題の内容が難しい場合には、本人の力に見合った質の宿題を用意する必要があります。その為、保護者が学校と相談し、本人が取り組みそうな宿題に調整して貰うと良いといえます。②の宿題の量が多い為、どのように進めていいか解らない場合ですが、宿題を解く順番を伝えたり、量を分けたりして少しずつ取り組めるようにスケジュールを立ててあげて、お子さんが見通しを持って宿題に取り組めるようにする事が大切です。③の宿題をする習慣が身についていない場合は、「家から帰ってきたら、〇〇してから宿題をしよう。」というように、生活の一連の流れの中に宿題を組み込み、決められた時間の中で宿題が出来るようにスケジュールを伝えると良いといえます。④の宿題に対するモチベーションが低い場合は、モチベーションを高める手立てとして、「宿題をしたらおやつを食べようね。」というように、宿題の後にご褒美となるような好きなものや活動を用意することや、「頑張ってるね。〇〇まで出来たね。えらいね。」というように、宿題に取り組んでいる過程をこまめに褒めていく事も大切です。はじめは、嫌々やっていて乗り気でない様子もあるかもしれませんが、様々な工夫をする事で、段々と一人で取り組む時間が増えていくと思います。

(心理判定員 三谷 篤司)

お知らせ

心理相談室 第8回講演会

心の育ちを考える ～大人が持つべき視点とは～

日時： 平成24年10月6日（土）
 受付： 14：30～
 時間： 15：00～17：30 ※途中休憩を挟みます。
 場所： 島田療育センター 厚生棟
 講師： 齋藤万比古 氏
 （国立国際医療研究センター国府台病院 精神科部門診療部長）
 定員： 150名（要事前申込） 参加費： 1,000円（税込）

※詳しくはホームページをご覧ください。
http://www.shimada-ryoiku.or.jp/info/shinri_kouenkai_8.html

やさしさに支えられて



たくさんの壁を乗り越え、
 今も子供と一緒に歩き続けている
 お母さん、お父さん達の真実の
 体験談です。
 前向きに生きていく
 元気と勇気を貰える1冊です。

1冊 300円

ご購入希望の方は外来総合案内にお声掛け下さい。

有志の方々の寄付金で製本されました。
 売り上げの全ては後援会を通じて療育活動にあてられます。

家族支援プロジェクト

☆先輩パパママの体験談を聴く会&交流会

～発達障害または発達に心配のあるお子様の家族対象～

☆「よりよい親子関係の為に」

～島田療育センター医師2名による講演+交流会～

日時： 10月28日（日）
 時間： 13：30～
 場所： 島田療育センター 厚生棟

詳細に関しては、後日改めてお知らせ致します。



日時： 11月18日（日）
 時間： 13：30～ 場所： 島田センター 厚生棟（予定）

- ①：「薬物療法とメンタルヘルス」（仮）
野村健介医師（島田療育センター）
- ②：「イライラしない育児のための問題解決法」
井上祐紀医師（島田療育センターはちおうじ）

詳細に関しては、後日改めてお知らせ致します。

発達支援センター 心理相談室 小学生・中学生 土曜日活動 S-フレンズ

S-フレンズでは、学校での集団活動やお友達との関わりの中でつまずきがある小、中学校のお子さんを対象にグループ指導を行っています。活動は、ゲームや遊びを通して社会的なスキルを育むソーシャルスキルトレーニングを中心に行います。また、社会的な体験をする場としてイベントも計画しています。



お話を良く聴く
 「船長さんの命令」の活動です。
 船長さんのお話を聞いて、
 元気一杯手を挙げました！



高学年グループの活動です。
 みんなで仕事を分担し、
 友達の意見を参考に作業
 を進めています。

編集後記

夕暮れの訪れが少しずつ早くなり、吹いてくる風に爽やかさを感じたりすることで、秋の気配を感じている方も多いと思います。運動会や文化祭など行事が続く季節でもあります。更に「〇〇の秋」といわれるように楽しいことが目白押しです。体調管理に気を付けながらどうぞ楽しい秋をお過ごしください。
 （湯本）

編集：社会福祉法人 日本心身障害児協会
 島田療育センター支援部 地域連携情報室
 住所：〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1
 電話：042-374-2071
 E-mail：Info-room@shimada-ryoiku.or.jp
 URL：http://www.shimada-ryoiku.or.jp

〈徒歩〉
 多摩センター駅下車
 →約20分
 〈バス〉
 多摩センター駅
 バスターミナル12番
 乗り場
 「南部地域病院」
 行き
 →約7分
 終点「南部地域病院」
 下車→徒歩5分

